

審判上の確認事項

- 1 本大会は、2025年度公益財団法人日本バレーボール協会9人制競技規則を適用する。
また、岩手県公認審判員以上の資格を有する随行審判員制とする。
- 2 ベンチスタッフ・選手は競技規則に精通し、これを遵守すること。
- 3 本大会は、3セットマッチの1ボール・システムとする。
- 4 公式ウォームアップは、両チーム併せて6分間、またはどちらかのキャプテンが相手チームとは別に（連続して）公式ウォームアップを要求した場合は、各3分間行うことができる。
- 5 公式ウォームアップ開始前に監督は、記録用紙の選手リストを確認しサインする。また、チームキャプテンは試合開始前と試合終了後にサインする。
- 6 監督はチームベンチの最も記録席に近い席に座るか、試合を妨げたり遅らせたりしなければ、自チームベンチ前のアタックラインの延長線からウォームアップエリアまでのフリーゾーン内で、立ちながらも歩きながらも指示を出すことができる。ただし、試合を妨害したり、線審の判定の妨げになるような場所に立ち止まることや、判定に影響を及ぼすような行為は禁止される。
- 7 サービスオーダー票は、監督またはチームキャプテンが公式ウォームアップが終了するまでに副審または記録員に提出する。
- 8 タイムアウトの要求は、監督がハンドシグナルを示して要求すること。監督が不在の場合はゲームキャプテンだけがハンドシグナルを示して要求すること。
- 9 タイムアウト終了のホイッスル後、すぐにコートに戻らない場合や、サービス許可のホイッスルを遅らせる行為など、試合の進行を遅らせる行為は、遅延の制裁の対象となる。
- 10 選手交代の要求とは、コートに入る準備の出来た交代選手が、選手交代ゾーンに入ることをいう。この場合、監督またはゲームキャプテンはハンドシグナルを示す必要は無い。ただし、コート内の選手の負傷や病気による選手交代の場合は、監督（不在の場合はゲームキャプテン）がハンドシグナルを示して要求する。
- 11 チームが複数の選手を交代させたいときは、複数の交代選手が同時（時間を空けず）に選手交代ゾーンに入らなければならない。この場合、交代は1組ずつ連続して行われる。
- 12 チームの素晴らしいプレーに対して、ベンチの構成員が立ち上がってその喜びを表すような態度は罰則の対象とならない。しかし、競技役員、相手チーム、チームメイト、さらに観衆等に対する不法な行為は罰則の対象となる。
- 13 セット間は、他の試合の妨げとならない限り、自チーム側（エンドライン後方のフリーゾーン及びサイドライン横のフリーゾーン）で、ボールを使用してウォームアップすることが出来る。
- 14 試合中コートが濡れた場合は、コート内の選手がタオル等を用いて、ラリー終了後速やかに拭くこと。モップの使用は、タイムアウト中、セット間、及び審判が指示した時とする。

- 15 試合の前は、選手 15 名がエンドラインに整列し、主審のホイッスルで挨拶する。試合終了後は、コート上の選手 9 名がエンドラインに整列し、主審のホイッスルで挨拶する。尚、監督、チームキャプテンは、主審、副審にも挨拶する。